

平成13 (2001) 年1月10日  
第15号

発行 世田谷 稲門会  
発行人 土倉 享一

事務局 〒157-0072  
東京都世田谷区砧8-19-15  
寺澤 隆夫 方  
TEL/FAX 03-3 415-1887

# 世田谷稲門会会報

## ご挨拶



早稲田大学総長 奥島孝康

明けましておめでとございませう。二十一世紀を迎えるにあたり、早稲田大学を代表して、世田谷稲門会の皆様に、心から新年のご挨拶を申し上げます。

世田谷稲門会の皆様には、ご健でそれぞれの分野でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、会員の皆様が一丸となつて会の運営に力を尽くされていることに對しまして、心からの敬意と感謝の意を表します。

さて、私立大学は、「志によつて立つ大学」(志立大学)であり、「建学の精神」を堅持しなければならぬと、私たち理事会は考えております。早稲田大学の建学の理念は、教旨にも示されているように「学問の独立」「学問の活用」「模範国民の造就」であります。この理念を今世紀には一部分なりとも必ず実現するため、「独創的な先端研究への挑戦」「全学の生涯学習機関化」「地球市民の育成」という三つの目標を設定し、これを早稲田大学の第二世紀宣言として、ソ

フト・ハード両面にわたる抜本的な改革に着手することにしました。改革のコンセプトはグローバル＆ローカルであります。こうしたスタンズで、本学では、創立百二十五周年にあたる二〇〇七年を、創立者・大隈重信の「人生一二五歳説」にちなみ、本学の第二世紀の幕開けと位置付け、全学の目標を「グローバル・ユニバーシティの実現」といたしました。

第二世紀宣言の一つ目の「独創的な先端研究への挑戦」とは、「教旨」の「学問の独立」に対応する研究目標です。本学は、これまで

も、時代の要請に依りて、研究成果の社会への還元を努めてきました。が、今後は特に、地球規模の課題に組織的に取り組み、地球と人類へ貢献する本学の志を研究面においても強力に展開していきます。

昨年四月一日には、独立大学院「国際情報通信研究科」を発足させ、九十八年に設立された独立大学院「アジア太平洋研究科」とともに、アジア太平洋地域を中心としたヒューマンネットワークとメディア

ネットワークを着実に形成しつつあります。また、国際情報通信と地球環境分野については、本庄校地において主力を展開していく予定で、二〇〇四年には校地内の上越新幹線本庄新駅の設置も決定し、本庄校地周辺は「本庄早稲田リサーチパーク」として、将来アジア太平洋地域の研究開発拠点地区として大きな発展が約束されており、ます。さらに、学際的アプローチ

による先端的研究の育成を目指す五十九の「プロジェクト研究所」を昨年立上げ、本学の研究開発力を社会にアピールするとともに、人類社会の福祉と発展に貢献することを目指しております。これらに他に、独立大学院としては「日本語研究科」(本年四月開設予定)、「北九州新研究科」(先端技術デザイン研究家(仮称)社) (二〇〇三年四月開設予定)を予定しており、高度な専門的職業人の育成を目指す特色ある大学院教育に取り組んでいきます。

二つ目の「全学の生涯学習期間化」とは「教旨」の「学問の活用」に対応するものであり、大学は社会のインフラでなければならぬとする本学の志を示すものであります。

人生八〇年代を迎えたいま、生涯学習社会における「ハッピー・エイジング」(生涯現役を目指すための生き方)を実現するために、あらゆる「地域」と「世代」へ開かれた大学を目指して改革を進めていきます。現在のエクステンションセンターのみならず、一部の学部・大学院における社会人入試制度の導入や、赤坂森ビルのアーク

ヒルズに一昨年開設した「アーキ・カレッジ」等、社会人を受け入れるシステムが徐々に広がっております。また、通信衛星やインターネット等の活用による遠隔講義の全国展開なども検討を進めています。三つ目の「地球市民の育成」と

は「教旨」の「模範国民の造就」に対応するものであり、本学の教育目標を明示するものです。グローバルな目標とローカルで野性的な魂を持った志の高い、行動力のある若者を、次々と社会に送り出してゆける教育システムの設計に努め、各学部・各大学院研究科が独自の工夫を続けている一方、海外の大学との学生交流を強化するため、現在、二七〇校近くの海外大学との交流協定を締結して、キャンパスの活性化を進めております。

このように、本学もようやく二十一世紀を展望しうる地点に立つことができました。これからは、さらに早稲田らしい「世のため人のため」となる研究と教育を強化し、わが母校を「地域に、社会に、世界に開かれた大学」としてさらに発展させ、学問的にも社会的にも志の高い大学を目指すため、新たなチャレンジを続けたいと考えております。

そして、これらの目標を達成するためのインフラづくりを目指して、昨年四月より「創立百二十五周年記念事業募金」を開始いたしました。皆様には、本学の未来のために、新生早稲田大学に是非とも注目いただくとともに、これから八年間の長丁場ではあります。が、記念事業募金に対するご支援ご協力のほどを心からお願ひ申し上げます。末筆ながら、世田谷稲門会のおまますのぞき発展と皆様のご健勝・ご活躍を祈念いたします。

# 二十一世紀 初頭の新春を飾る

## ◆世田谷稲門会 「新春交歓会」

平成十三年一月二十七日(土) 十八時より「駒場エミナース」で行います。

新春にちなみ狂言師・茂山十郎氏(昭四十二政経)に講演をしていただき、ひきつづいて懇親会に入る予定です。懇親会ではビンゴゲーム等お楽しみ催事を予定しておりますので、ご家族同伴での出席をお待ちしております。

### 大隈庭園に幟が林立

『第一回東京二十三区稲門会連合の集い』に校友続々参集し大盛況!!

昨年の十月二十二日(日)ホームカミングデーに合わせて大隈庭園で初めての『東京二十三区稲門会連合の集い』を正午から開始。午後三時半の閉会まで二十三区が力を結集したイベントを展開した。

大学・校友会本部の支援のもと大隈庭園に六つのテントが立ち並び、二十三区連合の本部テントでは各区毎に新入会員の勧誘と受け、隣に豊島担当で漫画研究会現役学生による似顔絵描きコーナー、次のテントには杉並担当の江戸前寿司即売、寿司職人がその場

で握る。全国銘酒試飲会には酒造稲門会ほかの協力をいただいて四十四銘柄、六十六本の銘酒が並び世田谷の若手幹事を中心にサーピス。世田谷のサザエさんグッズや第三ブロックが仕入れた東京産品コーナーに羊羹の老舗の出張販売も加わった。

薄曇りだが時折秋の陽射しが芝生に注ぐ。まずまずの日和に感謝しつつ午前十時、二十三区から二名ずつ、五十名近い当日担当者が最終打ち合わせをして持ち場についた。真新しい各稲門会の幟がためき、各テント前に看板が立った。大隈庭園には稲門女性ネットワークやリガロイヤル、かつての大隈会館レストランだった喜山倶楽部の出店もあって、ホームカミング招待者よりも校友・家族知人の入園自由。正午前から賑

わい始めて、それぞれグループ毎に芝生に陣取り談話がはずむ。中央石畳に着席した足立稲門会下田幹事長の「のこぎり」演奏が始まった。「のこぎり」に弦をあって弾く微妙な音色が響き出し早稲田メロディのリレー演奏が流れる。拍手喝采がしだいに大きくなった。紹介役は中央稲門会会員の女流落語家・川柳つくしさん。合間に催し物案内と入会勧誘もハンドマイクで呼びかけた。

風にあおられた幟を支える人、各テントの応援や連絡に走る人、庭園は込み合ってきた。大学構内を回っているニューオルリンズの演奏隊が乗り込んできてジャズが鳴り響く。やがて大隈講堂に向う森首相が奥島総長と共に庭園に現れ、いち早く並んだ報道陣のフラッシュを浴び、人垣ができる。

ひと騒動が治まったところで次は文京稲門会肝入りの湯島天神太鼓の登場。若い男女七人が鉢巻き、はっぴ姿でばちをさばく。華麗にして勇壮な太鼓がどろいって会場はますます盛り上がった。再び「のこぎり」演奏の微妙な調べが流れて雰囲気が変わる。最後に校旗と応援部学生が入場してよいよフィナーレを迎え、庭園に広い輪が広がった。リーダーの指揮で思い思いに肩を組みながら、「紺碧の空」を、続いて校歌を大斉唱して閉会した。

江戸前握り寿司千円、三百食分は約一時間半後に最初に完売。世田谷の高橋和敏幹事や飯田幸裕さんが中心になって立ち働いた銘酒コーナーは二時間四十分で品切れになり、お志の「W募金箱」の総計は四一、九五五円だった。サザエさんグッズは世田谷の土井葉子さんが一人で奮闘して完売にこぎつけ、万歳。似顔絵描きコーナーは終了間際まで順番待ちが続いて六人の学生が八十三枚を描き上げた。

新入会員募集は世田谷が九人と二十三区で最も多い申し込みを獲得した。前原祖彦幹事長を初め鈴木宏治、武藤 哲、柴田 昇ほか多数の幹事の方々のご努力にも感謝したい。

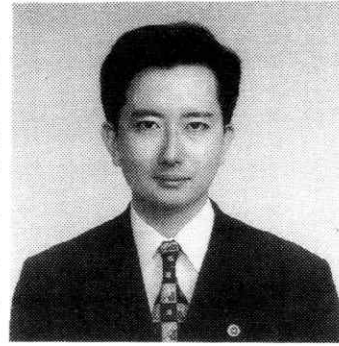
校友会の推定によればホームカミングデー全体の参加者は六千二百人を数え、前年に比べて千五百人増という盛況だった。(土倉記)



「青年部会」

下戸の私の

銘酒試飲会報告



人の世には、どう考えてみても自分に似つかわしくないようなお役目が回ってくる、不思議な巡り合わせというものがあるらしい。もともと、四十一才という、我ながら、「青年」だとはとても思えない身で「青年部長」の座につき、何だかお尻の辺りが落ち着かない気分がしていた私だが、何と今回は、お酒は一滴も飲めない下戸の身ながら、よりにもよって、百升もあるうかという大量の日本酒を人様に飲ませてしまおうという役回りになったのだから面白い。

なんでも、十月二十二日(日)に、母校のホーム・カミングデーと合わせて行われる二十三区稲門会連合の会場で、本年度の会長会である世田谷稲門会の企画の一つとして、酒造稲門会から寄付して頂いたお酒の試飲会をやって、そ

の場で母校へのご寄付も募ろうというところらしい。

酒の味の全くわからん男が、全国津々浦々の銘酒をお勧めするという大胆不敵さに、さすがに、一抹の良心の呵責と言おうか気後れを感じないわけでもなかったが、青年部会出動せよとの命を受け、会の運営については諸先輩におんぶに抱っこという日頃のご無沙汰を埋め合わせるのはこの時とばかり、中年部長と青年部員は勇躍、日曜日の午前十時に大隈庭園に集結した。

ところが、担当役員の諸先輩にはもっと早い集合がかかっていたとのことで、お迎え頂く形になり恐縮至極。しかも、お酒の寄付をお願いしたり、ご指名の便宜を考えて銘柄ごとにナンバーをつけたカードや立て看板を作成したりという面倒な事前準備は戸井田副会長の方で万端整えて、我々は瓶を箱から出して並べて注ぐだけでよい状態にして下さっており、御配慮は何時ものことながら、またまた大恐縮。

おかげで瓶やカードの配置は、若手同士でワイワイやりながらも、十分ゆとりをもって完了。全国各地から届いた六十六本という早稲田ゆかりの銘酒の瓶が机の上にならりと並んだ様子はなかなかの壮観。この企画は当たりそうだと、皆の期待もいやが上にも高まつて行く。

ホーム・カミングデーの行事の関係からかOBの入場まで間があ

り、若干手持ち無沙汰の間に、諸先輩に万一のことあらば一大事とて、チョコビリ「お毒見役」を買って出る御仁も出るなど、当会の側は早くもお祭りモード。

やがて、大隈庭園にOBの皆さんが繰り出して来られると、たちまち試飲会場前は大変な人だかり、人気企画の一つであることは間違いないの盛況。味比べを楽しむ方あり、「あの酒は無いの。」「へー、こんなお酒も出てるんだ。」「これはOBの誰それさんの酒造だろう。」等の声あり、御志でと申し上げてもお札を寄付して下さる先輩ありで、皆さん大喜びのうちに、品切れ銘柄が続出し、閉会までに大分時間を残して、全銘柄売り切れにより、目出度く開店と相成った。

この間、青年部員は、ひたすら注ぎまくり、あるいは、二本目三本目の瓶を出したり、紙コップの調達に走ったりと、大忙し。ただ、「フルーティーなのを。」等と聞かれても、何がフルーティーやら私に判るはずもなく、相当な荒業・大技の連発で何とか凌ぎ切ったのもご愛嬌!

このような大成功を振り返ってみて、今更ながら戸井田副会長のアイディアの良さに敬服する。そして、何よりも、酒造稲門会の御協賛があつて初めて実現できた企画であり、心から感謝を申し上げます。

また、①是非一本売って欲しいというお声も複数聞こえたのに残

念ながらお応え出来なかつたので申込書を御用意して置けば酒造稲門会の御厚意に幾分かでも恩返しできたのにと、②普通の紙コップよりも試飲用の小さなコップを使つた方が、多くの種類を少しづつ飲み比べて頂くことができ(逆に、タツプリ楽しんでいただけから、マアいいか)、また、時間的にももう少し長持ちさせることができたのではないかといつたあたりが、来年への反省点か。

「ゴルフ部会」

第二十五回世田谷

稲門会ゴルフコンペ

世田谷稲門会々員数は三百五十名余りでゴルフ会員は約三分の一です。会員が増加すればする程自戒して、明るく楽しく前向きをモットーに会の発展充実に微力を尽くしたく思っております。

コンペ参加者(敬称略)

- (イン) 平山恒夫、寺澤隆夫、田村暁美、土倉享一、金田英一、豊田宏、江口力、森春野、中尾正、後藤秀夫、守谷之男、永井憲一、古谷哲雄、柴田昇、鈴木宏治、山口進吾、水野義一、河野守、本田良幸、岸田正和(ウエスト)

- 森昌治、斎藤毅、富永孝子、奥田隆、河野暁美、福本道治、山内章次、志村光一、北内健一、鈴木清司、岩上健一、上保幸夫、田村尚、神谷直希、清水達雄、長谷川宏、吉村豪介

(北内健一記)

そして、私の得た、個人的な教訓。「酒は、飲めなくても、注ぐことはできる。」

高橋和敏 記



### 「囲碁部会」

#### 第二回囲碁の会開催

北風の吹く十二月二日土曜日第二回世田谷稲門会囲碁部の親睦囲碁の会を用賀の『囲碁サロン石庭』にて開催した。

参加者は十二名、九月九日に開いた第一回の囲碁の会より数えて三ヶ月目である。初参加の方々三名も加わり、一回目に比べ人数は着実に増えている。有段者の方も、級の方も皆熱心に打ち進められ、午後一時から始まって5時までであつという間が過ぎて行く。五時半より囲碁部忘年会を『居食屋和民』にて開催。次回の囲碁会は来年の三月に決まつた。

また、湯河原にて囲碁部の合宿をしたい。他区稲門会との親睦對抗試合もどうかと活発な意見がでた。来年は一泊の合宿等も考えていきたいと思つている。

矢田 廣 記

### 「麻雀部会」

昨年十一月発足以来、皆様のご配慮により順調に内容を充実、拡大しています。

(1)、九月九日(土) 第六回親睦マージャン大会を小田急線成城学園前駅徒歩一分の麻雀クラブ「だんとつ」(以下会場、曜日、開催時間とは同一)に十六名が参加し、午後一時から同五時迄、四ゲームを腕と口で闘つた。原夫妻のワンツーフイニツシユが成るかと思つた。最後は柴田昇氏が追い込みを見せ僅差で優勝をさらつた。順位は優勝柴田昇、準優勝原諒子、三位原明各氏の結果となつた。

(2)、九月三十日、第三回三区(澁谷、目黒、世田谷)親睦麻雀大会を当区の主催で、「だんとつ」にて開催した。上期末にもかかわらず、澁谷から六名、目黒から七名、当区から十一名が参加され、参加者賞ボルドー産赤ワインで秀囲碁を盛り上げ和氣藹々のなか四ゲーム闘つた。結果は、地元利か? 当区が三位(目黒の井上哲爾氏)を除く一、五位を独占大健闘した。順位は優勝が江口力、準優勝草野昭次、三位井上(目黒)、四位草野浩三、五位大石邦雄となつた。(敬称略)

(3)、十一月十一日、第七回親睦麻雀大会を「だんとつ」にて十二名参加で開催。代表世話人が膝の故

障で欠席するも、草野、原、市川、寺澤各氏のご尽力により盛況の内に四ゲーム闘つた。優勝は市川隆彦、準優勝蒲原信一、三位永井憲一各氏の結果となつた。

(4)、初心者入門講座へ参加者募集中!

目下、月一、二回、出席者の都合を考慮しながら土曜の午後一時〜四時に既述「だんとつ」にて、当部会員を講師に開催しています。これから麻雀を覚えたい方、従来の打ち方に飽きたりしない方は、是非この機会にお申下さい。講習料は無料ですが、実戦を通じた授業を雀荘で実施するため、場所代が一時間三三〇円(約三時間で九〇〇円)かかります。

お申込は、希望土曜日(第一〜第四より二つ以内選択) 明記の上、左記迄葉書にてお申込下さい。〒一五六・〇〇五五 世田谷区船橋三・二二・一四・一〇五 下谷内 亮 (シモヤチカシ) (PHS 〇七〇五・七二二・二六五二)

下谷内 亮 記

### 「ボウリング部会」

当部会は、毎月一回、原則として第三日曜日に、澁谷稲門会と合同、世田谷オーケラボウルで例会を開催しております。

スタートは午前十一時、三ゲーム制で行なっておりますが、参加者は毎回十数名から二十名強、現役の大学院生から、古稀を迎えますます元氣流刺の先輩まで、また若々しい女性も花を添えて、お互いキーを出したり、プロでも難しいスプリットをクリアするたび拍手喝声あげながら楽しんでおります。

昨年は一月に石井治さん(昭五一社)が二一九点という高得点を出して新記録を樹立いたしました。今年はこの誰が破るか、注目!

ゲーム終了後、近くの和風レストランで、四方山話に花を咲かせて懇親を深めるのも楽しみの一つです。

ボウリングは個人競技です。技術差があつても、初心者でも一緒に気軽にできるスポーツです。三ゲームの運動量は散歩八十分に匹敵するとか、そのわりに疲労度も少なく、健康管理には最適で参加お待ちしております。

武藤 哲 記

### 「食へ歩き部会」

平成十二年度第二回の会合を十一月二十六日(日)に開催。参加者十八名。

今回は「横浜港クルーズと横浜中華街での本場中華料理を食す会」を行った。

当日は初冬の季節にもかかわらず小春日和の暖かい日となり、行楽には絶好の空模様であつた。

桜木町駅集合後バスで山下公園へ。「かもめの水兵さん」の碑や野口雨情作詞の「赤い靴はいた女の子」の像が点在する園内を散策。船旅時代の優雅な航海を偲ぶ「太平洋の女王」と呼ばれ世界を巡つた豪華客船氷川丸やホテルユングランドを始めとする山下公園通りのホテル街等を眺め美しいエキゾチックな古きよき時代の横浜の風景を堪能した。

豪華観光船マリオンシャトルを背景に全員の記念撮影後乗船、六十分のクルーズをゆつたりとくつろいで楽しんだ。小春風に鏡の如き海面を船は滑るように進み港内から港外へと進む。紺碧の海に映える白亜の「みなと横浜のシンボル」ベイブリッジをくぐり、鶴見つばさ橋、大黒大橋下を通過して山下公園に着岸した。この間、本牧・大黒両埠頭や扇島のNKKの壮大な施設や「みなと未来21」のランドマークタワーを始めとする数々の高層ビル群や都市型遊園

地コスモワールドの遠景を望み、新しい横浜の息吹を感じとる事が出来た。

中華街に入り歳末のアメ横を彷彿させる雑踏の人波にもまれ、「中華菜館同発」に到着。本場中華料理に舌づつみをうち、紹興酒の美味に酔いしれて、談論風発、時の経つのも忘れ楽しい時を過ごすことができた。

〔参加者〕麻生卓司、大須賀 肇、藤山康夫、加藤隆夫、加藤玲子、木村滋、熊本昭二、熊本ちづる、荏司真恵、鈴木宏治、関根昌一、高葉 宏、前原祖彦、松居泰三、松居昭子、武藤 哲、山口進吾、和田全正 (敬称略)

大須賀 肇 記

### 「スポーツ観戦部会」

平成十二年十月二十八日「秋の早慶野球観戦会」(第一回戦)を開催。

この日は薄曇の肌寒い日であったが、特別学生応援席で応援観戦を行った。参加者二十四名学生応援席の最前列を確保、学生やチアガール達と、一緒に熱狂の応援を展開した。

試合は早慶両校とも善戦。鎌田裕也投手の健闘も空しく、三対一で惜敗したが緊迫した試合の経過に一喜一憂したり、エール交換、応援歌の応酬等スポーツ観戦の感動の渦にまきこまれた。

試合途中、森首相・奥島総長も応援席に現れ、「森・森」のシュプレヒコールの中、にこやかに観戦されていた。

試合終了後、青山通りの「増田屋そば店」で試合経過を語らい、盃をあげて二回戦・決勝戦の勝利を記念し散会した。

〔参加者〕弥永一正、大須賀 肇、大西幸男、柏 良子、香掛元砥、熊本昭二、越山八郎、小林 浩、齋田秀雄、鈴木宏治、高葉 宏、高橋和敏、土倉亨一、武藤 哲、矢田 廣、山口進吾、渡辺八郎、他同伴者七名 (敬称略)

保倉 進 (大須賀 肇代記)

### 「釣り部会」

八月二十七日(日)

大井ふ頭中央海浜公園にて、全磯連主催の婦人少年少女はぜ釣り大会に参加した。当日は、晴天のため、残暑きびしい一日であったが、二百人位の参加有り、三匹の重量賞、大物賞等の賞品多く、子供達は何らかの賞品を手にし、大喜びであった。当部からの参加が非常に少く残念であった。

九月二十四日(日)

海洋写真家である中村庸夫氏と柴田昇の二名の参加で、茅ヶ崎港おだか丸より「イナダ」ねらいで出漁。経験豊かな中村氏が、イナダ七本、小生三本、その他アジ、サバ、ソーダカツオ等土産を得た。メジマグロは、釣れなかったが、



イナダは、三十五纏〜四十纏になっていた。来年は、数が出るワカシを八月にやりたい。

に技能も向上いたしております。皆さんにもこの充実した刺激を味わっていただきたい、この意味でも入部をお勧めする次第です。

十月十一日〜十二日  
東伊豆城ヶ崎海岸、熱川海岸にてメジナ磯釣り、二名参加、小メジナの群になやまされ、二十纏級六枚の釣果に終わった。秋の海は、青くきれいであった。

柴田 昇記

### 「ソフトボール部会」

ソフトボール部会は、渋谷及び府中の各稲門会との交流試合を中心に、毎年四月から十二月まで、各月二ないし三回の活動を行っております。

### 「社交ダンス部会」

前号のお知らせのとおり、部会員9名各自分散して練習中で、目下同好の会員を募集中です。

ご存じのとおり「社交ダンス」といいますと、従来はダンスホールの風俗営業を想像しましたが、現在ではオリンピック種目にする動きもあり健全なスポーツダンスが主流です。スポーツですから体が健康でないと出来ません。足腰が強化し姿勢が矯正され、音楽とパートナーが必要ですからリズム感と相手に対する思いやりが養えます。また高齢になっても続けられますので、老化防止には最適です。

渡邊 洋 記

平成十二年は、対外試合(スポーツ連盟の都大会)に参加し、また、所沢キャンパスでの教授チームとの対抗戦なども行いました。

しかしながら、九月から十一月までの予定試合が雨のため一回しか開催できず、残念な思いをいたしております。

参加者も、少しずつ増加しておりますが、未だ常時、九名以上を確保できず、他チームとの混成で行っております。したがって、現在、参加されれば、レギュラー選手になれることは間違いありません。

会員の御家族の参加も得て、和気あいあいにもかわらず、着実

最近はおちこちの公民館ホールでダンスパーティが盛んです。初めての方も以前経験された方もぜひダンス部会にご参加下さい。シャルウィ・ダンス!!

参加申込み先・TEL/FAX 370415321 武田信夫まで  
山口 進吾 記

### 「テニス部会」

世田谷稲門会テニス部会は、月一回の定例練習会のほか年一回泊二日の合宿、及び年末の納会&クリスマスパーティを行ってまい

定例練習会は、世田谷区砧にあるサンフィールドテニスクラブにて毎月第四日曜日の午後から約二時間（通常は二、四時です）、前半は優秀なコーチによるレッスン、後半は試合形式での練習を行っています。世田谷稲門会の中でも女性の割合が多いのが特徴で、和気あいあいとした雰囲気の中で時には厳しい練習を交えて楽しい汗を流しています。

平成十二年の納会は、十二月十七日（日）、サンフィールドテニスクラブ内の西洋料理ココモで開催、練習会で思いっきり汗をかけた後のビールは最高！。今回も十数名が参加し美味しい食事とお酒を交えながらテニスの話に花が咲きました。

当テニス部は、テニスの腕前を全く問いません、なんとなくテニスに興味のある方、テニスは好きだけど初心者の方も大歓迎です（もちろんテニスに自信がある方も大歓迎です）。ご気軽に参加してみてください。

鈴木 正則 記

### ◆世田谷稲門会のホームページについて◆

世田谷稲門会平成十二年度計画・予算に計上された「世田谷稲門会ホームページ（以下HPと略）」について予ねてより常任幹事会で検討を重ねてまいりました。

しかしながらHP開設の必要性（世田谷稲門会のPR・会員増加策等）は確認されたものの、費用対効果、ランニングコスト等の検討、他稲門会の実績調査、セキュリティ等の諸問題について充分検討するための時間的余裕がなく本年度の予算行使は不可能な見通しとなりました。従って本年度の実施を見送り、今後継続して検討を続ける事にいたしました。

（常任幹事会）

### ホームカミングデー

十月二十二日（日）は曇り空に時々薄日のさす天候であったが恒例の行事が盛大に行われた。

本年の招待対象者は卒業五十年目（昭和二十六年卒）卒業四十五年目（昭和三十一年卒）卒業三十五年目（昭和四十二年卒）卒業二十五年目（昭和四十七年卒）卒業十五年目（昭和五十二年卒）であった。

戸山キャンパスの記念会堂で奥島総長の式辞につづき、服部善郎

氏（二法昭二十六年卒）碓山奈奈氏（一文昭五十一年卒）のホームカミングデー招待者代表挨拶があった。

その後創立百二十五周年記念事業概要・応募マスケットキャラクター（カット参照）の選考結果の披露等があり、校歌斉唱で閉会した。午後一時より大隈講堂において稲門グリークラブによる「懐かしい青春の歌」を初め福引き抽選会等様々な催しものがあった。たまたま居合せた森首相も壇上に上り、親しく話をされた。

一方、大隈銅像の通り周辺では手軽な飲食を主体とした模擬店も多数出て「昼食」をしながら、久しぶりに出会うクラスメイト同士の談笑が絶えず大変な賑わいであった。

なお招待者の学部学科別クラス会が個別に七号館、十号館等の教室で開催され旧交を暖めた。

世田谷稲門会会員のうち多数の招待者もこれら催しに参加した。また、この日に併せ大隈庭園で十二時から「二十三区稲門会連合のつどい」（二頁掲載）も盛大に行われ空前の人出で賑った。

マスケットキャラクター「WAS EDA BEAR」



早稲田大学では、創立百二十五周年を記念して、「新生ワセダ」をアピールするとともに、あらゆる世代の方々に親しみと愛着を持たれるようなマスケットキャラクターを応募し選考の結果、最優秀作品一点を「WAS EDA BEAR」という名前とともに決定した。制作者は弘兼憲史氏（昭45法・漫画家）で、同氏のご好意により「WAS EDA BEAR」に関する一切の権利は早稲田大学に帰属することになった。

これからイベントや広告媒体、キャラクターグッズなど、さまざまな場面での活躍が期待されている。

### 母校の動き

―学部長異動―

九月十六日付で新学部長が決定された。（任期二年間）

- 政経 堀口健治 昭40政経卒
  - 法 田山輝明 昭41法卒
  - 一文 大橋一幸 昭41一文卒
  - 二文 土田健次郎 昭48一文卒
  - 教育 津本信博 昭38教育卒
  - 商 嶋村紘輝 昭42商卒
  - 理工 尾島俊雄 昭35理工卒
  - 社会 坪郷 實 昭47大阪市大卒
  - 人間 野嶋栄一郎 昭38一文卒
- （早稲田ウィークリーより）

### 台湾旅行へのお誘い

この度「食歩き部会」有志世話人の提案による台湾旅行が左記のように企画されました。

「台湾のすばらしさ」を知る上でまたとない機会と存じます。

世田谷稲門会会員各位（部会と関係なく）にはご家族、友人等お誘いの上ご参加下さいます様ご案内いたします。

食歩き部会有志による台湾国宝と美味探究の会のご案内

世話人 木村滋 荘司真恵  
日程 平成十三年二月十三日（火）九時五分羽田発中華航空で台北へ  
グランド・フォモサ・リゾートホテル三泊  
平成十三年二月十六日（金）十八時十五分羽田帰着 解散

グルメ 昌華酒店他で北京・台湾料理・飲茶（やむちや）・海鮮料理

見学 専用バスで故宮博物館鑑賞・史蹟見学。烏来（うらい）溪谷美とタイヤル民族舞踊観賞  
旅行費用 一名 十二万六千円  
参加申込期限 平成十三年一月十五日

木村宛電話・FAX  
三三三二一・七六九四番

(会員のひろば)

最年少で初優勝

平成元年度政経卒の神谷直希と申します。

十一月七日(金)に中津川カントリー倶楽部で第二十五回世田谷稲門会ゴルフ・コンペが行われました。ミレニアム最後のコンペで十組三十八名の参加でした。当日は午前中霧雨でしたが、午後から陽が射し絶好のコンディションの中で行われました。中津川CCは世田谷から一時間の好立地の素晴らしいゴルフ場で、参加者全員ナイスショット、ナイスパットの連続で大いに盛り上がりました。

私のスコアは40・43(ハンデ16) ネット67で、五回目の出場で初優勝させていただきました。ありがとうございます。大先輩方から「最近の若い者は軟弱でなつたらん!」と言われないように、十月は毎週末に二百五十球の猛練習した成果が出ました。また、当日一緒にさせていだいたパートナーの先輩からも応援していただき大変感謝しております。

麻雀大会で優勝

この度、第七回親睦麻雀大会で、幸運にも優勝する事が出来ました。高等学院から大学院修了迄の九年間、早稲田で日夜鍛えられた麻雀が、やっと花開いた感があります。

これも偏に後輩想いの稲門会の諸先輩方のご支援の賜物と、大変感謝しております。次回も、何卒御手柔らかに宜しくお願い致します。

市川隆彦(昭五十二・工研卒)

受賞

当会会員土井 巧氏(昭和十一年・商卒)は(財)日本国防協会(会長・衆議院議員 伊藤宗一郎)より同協会創立三十周年にあたる今年、同協会事業への貢献により功労賞を十一月十七日に受賞されました。

第三十六回都民

美術展に出展

妹尾昭一氏作「二十一世紀の日の出を迎える貴婦人」富士山(富士宮市)

十二月三日より十二月九日の間、上野東京都美術館で開催された標記美術展には都民美術会員と公募入選作品を併せ六百名の努力作が陳列され、多数の参観者で賑わっ

た。妹尾氏の作品は今回研究のため日本画と油彩画の画材で透明水彩画の技法により洋画を製作したもので多くの人々の絶賛を博した。

メソポタミア文明展

世田谷美術館

平成十二年八月五日〜十二月三日まで開催され盛況裡に終了した。ルーヴル美術館より、歴史に名高い至宝ハンムラビ法典をはじめ多数の作品が貸し出され展示されていて、世界最古のメソポタミア文明の多彩な展開の跡を窺い知ることができた。

「食へ歩き部会」関根昌一氏より九月例会で当該美術展のPRと、出席者に優待券の配布があり多数の会員が観賞する機会を得られた。

(大須賀記)

訃報

当会会員 寺田正明氏(昭和十二年・政経卒)は平成十二年十一月十七日に逝去されました。八十八歳でした。

謹んでご冥福をお祈りします。お通夜は十八日、告別式は十九日に茨城県・阿見町荒川沖の朝日会館にて執り行なわれました。

投稿・堤案を

お待ちしております。

- 発行日は、原則、年四回の全体行事の一カ月前です。発行日前に約二週間の印刷期間が必要です。原稿は「約一カ月前」前にさかのぼって間に合う時期にお寄せ下さい。匿名記事はお受け出来ません。
- 原稿は一行十五字とします。縦書きで右から左へお願いします。
- スペース上の理由などから字句の整理や一部割愛などをさせていただきます。あらかじめご了承ください。

※次号発行日・四月二十日予定

原稿〆切・四月六日

事務局または広報委員会(大須賀肇)までお寄せ下さい。



### 「東京二十三区

### 稲門会のつどい」

### 担当者会議

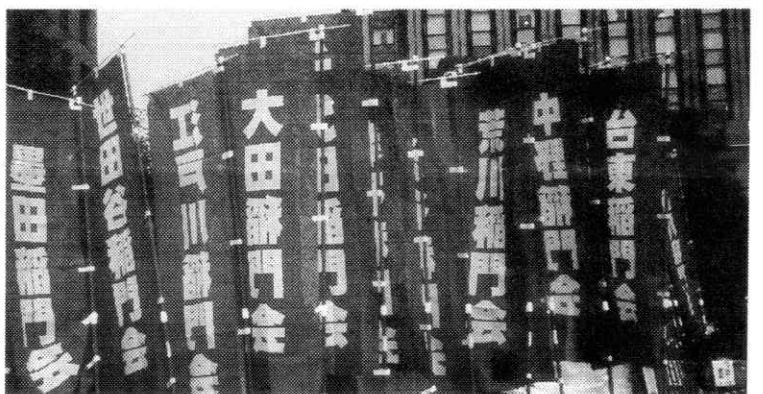
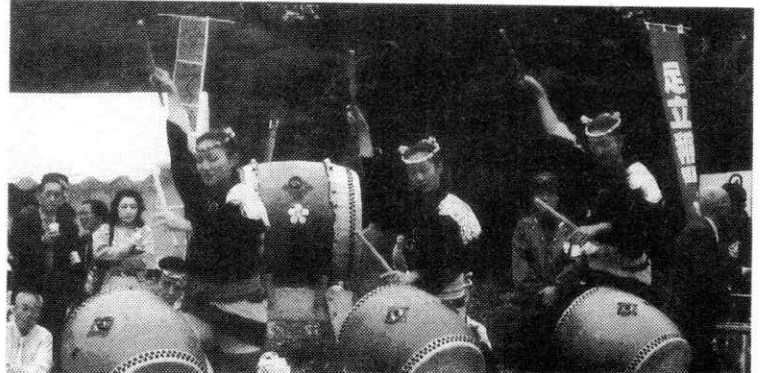
十二月八日午後七時〜午後九時二十分、大隈会館にて開催。十月二十二日のホームカミングデーと同日開催した「東京二十三区稲門会のつどい」に直接携わった担当者が、報告や今後への提言を中心に話し合った。概略は以下の通り。

◆『新入会員募集受け付け』二十三区全体で三十三〜三十四名となった。内訳は、世田谷九名・杉並六名・新宿六名・中央二名・港一名・目黒三名・練馬六〜七名。一昨年、大学構内の一隅に世田谷と

千代田だけが会員募集のテントを出したときに比べて格段の申し込み数だった。

【関連発言】\*大隈庭園の会場出入口口に設置した、大隈講堂内部を写し出すモニターテレビ二台が通り道を狭めて不自由だった（中央）\*テントの向きが逆向きの形で会員募集に気がつかない恐れがあり、テントも狭すぎた（新宿）\*二十三区共通の入会申し込み書を作ったらどうか（杉並）

◆『銘酒試食会』\*紙コップが足りなくなつて、校友会に追加を頼みに走る程だったが、いろいろな銘柄を少しずつ楽しんでもらうにも、在庫量をあまり早く切れさせないためにも、コップは小さなものの方がよかつたと思う（世田谷）\*提供して頂いた醸造元からPR資料や申込書を送ってもらつて置いたらよい。絶対量を今後はもつ



と増やしたい（中央）\*ご随意の芳志を入れて頂いたW募金は四万一千九百九十五円、端数を出さずに、例えば一杯百円以上とした方がよい（渋谷）

◆『のこぎり演奏』屋外だったが、設備（マイク、スピーカー）があつて、ハンデなく演奏できた。二〜三の出演依頼もあつた（足立）

◆『湯島天神太鼓』\*たいへんうまくいったと思う。大隈庭園内の中央にあらかじめ出演場所を縄張りして確保したのが良かった（文京）

◆『江戸前寿司販売』大学構内で握り寿司を出店したのは庭園内のみ。好評で握りだけでなく稲荷寿司

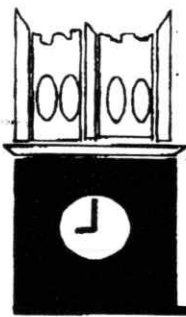
◆「その他」\*大隈庭園入口に置いた「東京二十三区稲門会連合のつどい」の看板は、二十三区だけの会場と誤解される恐れがある。名称を工夫して、主催を「二十三区」とし、対象を広げよ（渋谷）\*今回初めて作った各区の「のぼり」は良かった。ただ、庭園内に固定する方法を講じないと安定しない（世田谷ほか）\*食べ物を持ち上げる場合の衛生管理に留意を（足立）\*今回を例にマニユアル作りをしたらどうか（墨田）\*大隈庭園を東京二十三区の運営に委ねたのは、前年度があまりに寂しかったこともあつて、総長の意志と指示があつた。しかし、校友会実行委員の企画担当全員にその趣旨が伝わっていなかったし、決定も遅れた。次回は早々に方針が決まる見込み（志水・実行委員）

し等も、いち早く売り切れた。\*寿司だけでは足りない。ほかの弁当などにも出店してもらおう方がよい。（目黒）

◆『東京名産品』子供向きにはよかつた。食べ物をもっと多くすべきた。（目黒）

◆『サザエさんグッズ』家族連れが来ると売れ出した。仕入れルートの工夫によつて、もう少し安く購入できたかも知れない（世田谷）

◆『似顔絵描き』漫研の学生たちがテントの看板を見て、自分たちが漫画に描きかえた。順番待ちの状態で六人の学生が終了間際まで描き続け、八十三枚を仕上げた。企画は成功（豊島）





## 世田谷稲門会の現状と新規会員の募集について

世田谷稲門会は平成4年にスタートした稲門会です。年々会員数も増加し現在約400人と都内23区の稲門会でも有数の会に成長して、本年度は東京23区連合稲門会の会長会を務めております。

|                 |      |
|-----------------|------|
| 4月1日の新名簿作製時の会員数 | 361名 |
| 新規入会・復活者        | +33名 |
| 退会・休会者          | -16名 |
| 10月末現在          | 378名 |

現在当稲門会としては、何とか400名以上の会員数にしたいと考えております。

そして新規会員を紹介して下さった方には僅かではありますが、謝礼（図書券）を差し上げることにしております。

ぜひ、ご近所の方、同級生の方、会社の同僚等同窓の方をご紹介下さい。

事務局迄ご連絡頂ければ早速申込み用紙をお送り致します。

（〒157-0073 世田谷区砧8-19-15 寺澤隆夫 Tel & Fax 3415-1887）

全体の行事としては、1月の新年会・5月の総会・7月または8月の納涼会・秋の懇親会と年4回の行事が行われ、最近では毎回100人を超える会員が集っております。

その下部組織として以下のような部会があり、夫々活発な活動をしています。

### 代表世話人 会員数

|         |       |                 |                               |
|---------|-------|-----------------|-------------------------------|
| ゴルフ     | 北内 健一 | (T&F 3483-5922) | 120名、年4回のコンペ毎回12組で開催          |
| テニス     | 鈴木 正則 | (Tel 3205-2651) | 21名、毎月1回の練習会（サンフィールド）夏または秋に合宿 |
| スポーツ観戦  | 山口 進吾 | (Tel 3303-2733) | 62名、春秋の野球早慶戦早明ラクビー応援          |
| 麻雀      | 下谷内 堯 | (Tel 3789-1824) | 41名、月1回のマージャン会                |
| ボウリング   | 武藤 哲  | (Tel 3302-2607) | 22名、オオクラ・ボウルで毎月開催             |
| ソフト・ボール | 渡邊 洋  | (Tel 3427-5167) | 20名 澁谷・目黒と合同で月1～2回            |
| 釣り      | 柴田 昇  | (Tel 3700-1290) | 16名 海・船・磯・溪流釣り等               |
| 食べ歩き    | 麻生 卓司 | (T&F 3414-4706) | 50名 年4回の例会開催                  |
| 囲碁      | 矢田 廣  | (T&F 3700-1378) | 11名 年4回の親睦囲碁会                 |
| ダンス     | 武田 信雄 | (T&F 3704-5321) | 目下準備中                         |

名簿の正誤・住所移転・追加のお知らせ（会報14号以降）  
名簿（平成十二年四月発行）記載事項

## 正 誤

P24熊本昭二

P65 牧 哲朗 （誤）牧 哲朗

（正）牧 哲郎

## 住所移転

P42 滝来佐穂

## 追加（新入会員 ようこそ！！）

1. 鈴木 利幸 昭46商卒
2. 山本 厚子 昭51教育卒
3. 泉 勝 昭17政経卒
4. 松居 泰三 昭31政経卒
5. 種谷 鴻成 昭31理工卒
6. 細沢 勲 昭31政経卒
7. 片野 健作 昭26法卒
8. 桜庭 紘道 昭42政経卒
9. 武居 達治 昭39法卒
10. 小川 佳郎 昭41政経卒
11. 青山 英寿 平9文／独文卒
12. 栗山 みち 昭53一文卒

個人情報につき不掲載

## 編 集 後 記

21世紀の新春を迎え、会報15号の巻頭に早大総長奥島孝康氏（校友会会長）の玉稿をいただきました。  
新世紀も早稲田として輝き続けるための抱負が語られ、我々校友として頼もしく感じる次第です。  
世田谷稲門会会報も今回で15号となりました。前回14号より写真を挿入したオフセット版と致しました。  
内容については「世田谷稲門会会則」の目的に沿った情報の発信を主として行ってきましたが、会員相互の親睦の深度化を図る上でも皆様の身近な楽しい情報の提供を期待しています。  
ふるって「会員のひろば」へのご投稿をお願いします。 (O)